

JGS 宝石勉強会 in 夏の大阪 2018 (平成 30 年 7 月 18 日) 「翡翠を化学式から見る」色々なヒスイと呼ばれる宝石達

受講感想

以前に JGS 主催の勉強会にて、翡翠の品質の見分け方と価格指数に基づく価格査定体験に参加させていただきました。

今回の勉強会は、翡翠と類似宝石を化学式から見て識別。品質評価以前の基礎知識を付けてからの実習体験。私にとっては、翡翠は最も難しい宝石。殆どが半透明、屈折率もカボッションカットのため不明瞭。不安を抱き拡大検査だけで判断しているのが現状でしたので、この機会に基本から勉強したい思いで参加させて頂きました。

翡翠宝石は輝石族に属し、角閃石族のネフライト宝石とは全く異なる宝石種、化学式から見ると明瞭です。また、翡翠輝石族には固溶体として位置するオンファサイト宝石、ダイオプサイト宝石が存在し、また置換鉱物のコスモクロアの存在など、化学式構造や着色元素の違いによって外観や特性値が異なる。類似宝石との違いも化学式から見ることにより大きな違いを再確認しました。

前半に予備知識を付けて取り組んだ後半の実習体験。

時間制限のある実習は緊張の連続。ルーペ、ペンライト、カラーフィルター、UV ライトを駆使しながら最も重要な拡大特徴をサンプル宝石とルーペで比較しながら記録する。とても楽しく貴重な体験になりました。そして最後、参加者からの質疑応答はとても参考になり、これからも研鑽を重ね宝石学に取り組みたいと思う次第です。

このような機会を作って頂きましたことを感謝いたします。

JGS 会員 吉本 美佐子